

# 施工要領書

## 巾木 標準施工方法

### 主な特徴

- 折り曲げて施工する箇所もあるため、ビニル床シートとよく似て塩化ビニル樹脂や特に可塑剤が多く配合されています。従いまして出隅以外にはゴム系の接着剤は使用しないでください。（可塑剤がゴム系接着剤に移行しやすく、移行すると接着効果が無くなり、必ず剥がれやソフト巾木が縮んで継ぎ目に 5mm 程の隙間が発生します）

### 施工時の取扱い

- バインダーの含有量が多く、気温の影響を受けやすく特に低温時には縮み、そして硬くなります。

### 施工性

- 温度による伸縮に配慮して施工し、接着剤は指定品を使用します。
- 温度による伸縮率はホモジニアスタイルよりも大きく注意します。温度が高い時は伸びているために隙間がないよう押しつめて貼り付けます。低温時には材料が縮んでいるために詰めすぎないようにします。

### 保管と仮敷き

- 平滑な場所で水平に置き、角が痛まないように注意します。

### 下地と施工条件

- 床仕上げの良否は下地によって決まります。下地が悪いと床材の仕上がりが悪くなり、各種クレームのもとになります。

### 施工環境

- 材料および接着剤に適した施工の環境に注意します。

### 接着剤

下地の種類や現場の施工する場所、および施工する時期によって決定する必要があります。

- 一般工法  
ベンリダイン WH (BB-606) が適当です。
- 止水工法  
ベンリダインパーフェクトシームジェルチューブ入り (BB-394) でソフト巾木の上下や入り角へ作業終了後に処理します。

※接着剤の詳細につきましては各コードにて接着剤情報検索をご覧ください。